

人間性心理学研究

第33巻 第1号 2015年

日本人間性心理学会

追悼：畠瀬稔先生を偲んで

追悼にあたって：畠瀬稔先生のご逝去を悼む—略歴と主要業績—	伊藤義美	1
再録：『人間性心理学研究』創刊のことば	畠瀬 稔	5
畠瀬稔先生と日本人間性心理学会の創設と貢献	村山正治	6
畠瀬稔先生のエンカウンター・グループ研究をめぐって	野島一彦	9
畠瀬稔先生と学校教育	松本 剛	12

投稿論文

ある統合失調症者の回復過程に関する一考察—自然治癒力の視点を中心に—	藪下 遊	17
「一致」という用語にまつわる問題点とジェンドリンによる解決案	田中秀男	29
象徴化のプロセスとしての人間主体—Gendlinの思想を主体論として理解する—	久羽 康	39

特集：人間性心理学における実践と研究の方法論（その1）

人間性心理学における方法論—研究の対象と方法の往還—	内田利広	51
質的研究として体験を言語化すること	大塚 類	57
人間性心理学の研究法と研究上のチャレンジに対する提案	田村隆一	65

発想の源流

「個」に「普遍」が宿るとき	諸富祥彦	73
---------------	------	----

書 評

村山正治 編著 『「自分らしさ」を認めるPCAグループ入門—新しいエンカウンターグループ法—』	山田俊介	79
A.W. コーネル 著／大澤美枝子・木田満里代・久羽康・日笠摩子 訳 『臨床現場のフォーカシング—変化の本質—』	岡田敦史	81
内田利広 著 『期待とあきらめの心理—親と子の関係をめぐる教育臨床—』	遠藤野ゆり	85

学会報告

会務報告／投稿規程等		89
------------	--	----

編集後記

		99
--	--	----
